

つくる「天神・大名WiFi化協議会」。仕組みはこ
うだ。

店舗や公共施設にあらか
じめ、ネット接続に必要な
通信機器（ルーター）を配
布。街を歩く人が、アイポ
ッドなどのデジタル携帯ブ
レーヤーやスマートフォン
といった無線通信機能をも
つ携帯端末を使用。ルータ
ーの電波が届く範囲ならネ
ット接続でき、タウン情報
が手に入る。既存の携帯端
末と比べ通信は高速で、料
金も低額だという。

協議会は、九州のIT企
業などが技術を街づくりに
生かそうと2007年2月
に設立された。既に一部で
利用は開始。各店舗の協力
を得てネット空間を大名一
帯に広げていく計画だ。協
議会事務局長の杉山隆志さ
ん(左)は「手軽な情報源
。普段入らない店にも入りた
くなる、そんな仕組みに育
てたい」と意気込む。

協議会は同時に、タウン
情報を載せたサイトを開設
し、その充実も進める。
情報を集める活動は5月

「WiFi(ワイファイ)
化計画」と名付けられたプ
ロジェクトを運営するの
は、県や福岡市、情報技術
(IT)企業約10社などで

魅力アップへIT駆使



iPodのタウン情報サイトを見せる杉山隆志さん(中央)ら
天神・大名WiFi化協議会のメンバー

街ひと物語

から8月にかけて実施。 義夫さん(31)は「街歩き
県の緊急雇用創出事業とし
て行われ、「派遣切り」
などで職に就いていない若
者15人が当たった。「メ
ニューは？」店の特徴は「
「駐車場は備わっている
か」。店舗を1軒1軒訪ね
た。

協議会の広報担当、山本
定だ。
「これから大名、面白く
なりますよ」。杉山さんは
笑顔を見せた。

集めた情報は約4千件。
英語、韓国語、中国語にも
訳されて順次、サイトに
載る。11月には、情報を充
実させるため、再び「街
歩きメンバー」を集める予
定だ。